

保育実習指導ⅠB ルーブリック

評価項目	A	B	C	D
保育実習の意義を理解し、心構えを形成する。(C-2)	保育実習の意義を深く理解し、心構えが十分に形成できている。	保育実習の意義を理解し、心構えが形成できている。	保育実習の意義をある程度理解している。	保育実習の意義の理解が不十分である。
保育教材や指導案の作成等の保育の計画ができる。(C-2)	子どもの発達に応じた保育教材や指導案の作成等の保育の計画ができる。	保育教材や指導案の作成等の保育の計画ができる。	保育教材や指導案の作成等の保育の計画がある程度できる。	保育教材や指導案の作成等の保育の計画が不十分である。
保育士の職業倫理や保育所の役割・機能を理解する。(C-2)	保育士の職業倫理や保育所の役割・機能を深く理解し、詳細に説明できる。	保育士の職業倫理や保育所の役割・機能を理解し、具体的な例を挙げて説明できる。	保育士の職業倫理や保育所の役割・機能をある程度理解している。	保育士の職業倫理や保育所の役割・機能の理解が不十分である。
実習記録の意義と記載方法を理解する。(C-2)	実習記録の意義と記載方法を深く理解し、保育に役立てることができる。	実習記録の意義と記載方法を理解し、説明できる。	実習記録の意義と記載方法をある程度理解している。	実習記録の意義と記載方法の理解が不十分である。
実習での経験を分析し、今後の自己課題を明確化する。(C-2)	実習での経験を深く分析し、今後の自己課題を明確化し、具体的な対策を講じることができる。	実習での経験を分析し、今後の自己課題を明確化することができる。	実習での経験を分析し、今後の自己課題をある程度明確化することができる。	実習での経験を分析し、今後の自己課題を明確化することが不十分である。